

【2018年10月27日～2018年11月2日までの推移】

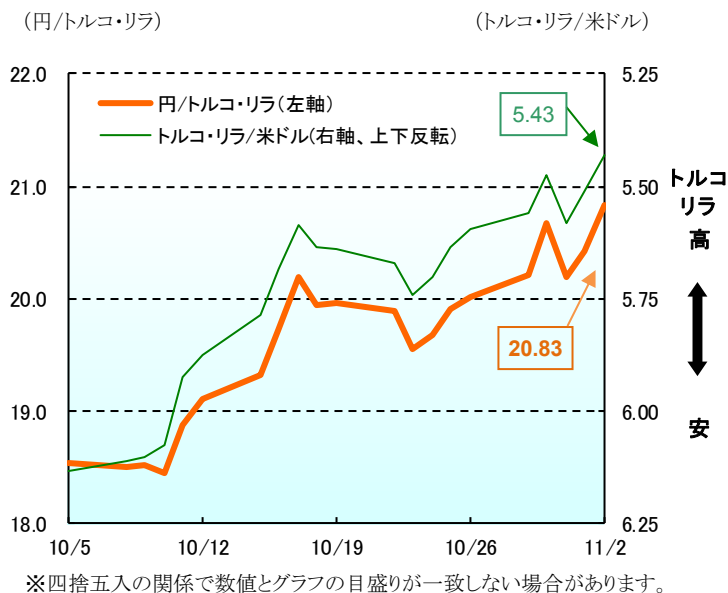
【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともに上昇しました。トルコの2年国債金利は低下しました。

先週のトルコ・リラは買い優勢な環境が継続し、対米ドル・対円ともに上昇しました。国債金利はインフレ率鈍化への期待やセンチメントの改善から低下しました。

経済指標では9月の貿易赤字が市場予想より縮小したことが確認されました。また、トルコ貿易庁は10月の貿易収支はさらに改善するとの見込みを発表しました。9月の外国人観光客数は前年比で加速しました。

【トルコ・リラ 為替推移】 (2018年10月5日～2018年11月2日)

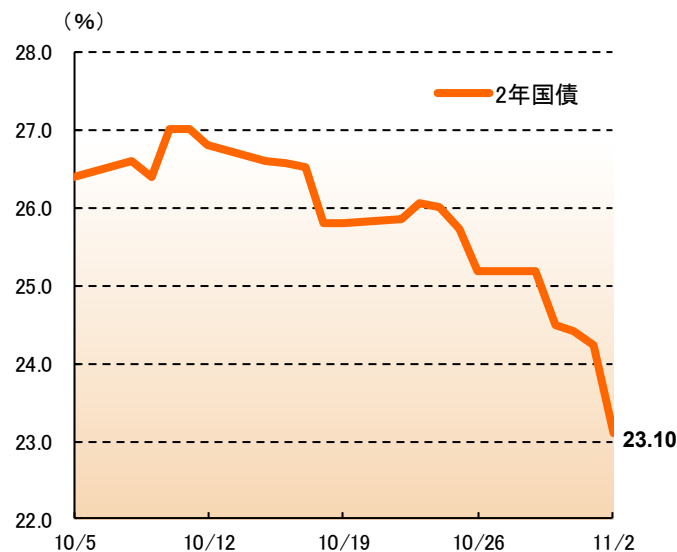


【2】今週の見通し

今週は市場が米国の中間選挙に注目するなか、トルコ・リラ相場は、センチメントが改善した足元の環境で安定が続くとみえています。

トルコ中央銀行が10月31日に公表した四半期インフレ報告書で、前回7月の報告書よりインフレ見通しを大幅に上方修正しましたが、来年半ば以降については、インフレ率の低下基調を予想しました。インフレ見通しを踏まえると、中央銀行はしばらく引き締めの金融政策スタンスを維持した後、来年半ば以降に政策金利を引き下げる可能性を示すことによって、高金利政策に反対するエルドアン大統領による過度な介入を防ぐ狙いもあると考えられます。目先は、内需の鈍化と政府による価格統制のインフレ抑制効果を確認する局面が続くそうです。

【トルコ 金利推移】 (2018年10月5日～2018年11月2日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>